

科目区分	専門教育科目	科目名	介護総合演習Ⅱ		科目コード	17F590	担当者	荒木 正平、植木 明子、 田川 千秋			
対象学生	介護福祉士コース1年生	学期区分	後期	単位数	1	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
利用者の状況や施設種別に応じて実習に取り組むことができる。これまでの介護実習から自己の克服すべき課題を理解し、その改善に向けて取り組むことができる。地域における高齢者の暮らしに関する基礎的知識を身につける。						1. 「尽心」 誠実な人柄と人間力		2. 「創造」 高度な知性と創造力		3. 「実践」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・創造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	施設ごとに異なる利用者像について理解を深める。					◎	◎	○	○	○	△
2.	実習において、状況に応じたコミュニケーションを実践できる。										
3.	文献学習の意義を理解し、積極的に取り組むことができる。										
4.	地域における高齢者の暮らしに関する理解を深める。										
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度（20%） 提出物（40%） 実習先の評価（20%） 実習の記録（20%）					
コース教員が連携し、授業を進める。教科書や配布資料を用いながら、実習段階ごとに設定される課題に向けて取り組む。											
準備学修						課題等への対応					
教科書や配布資料などで、実習前後の取組（レポートや書類提出）の意義を理解し、学びを深めていく（30～40分程度）。						実習中の学習状況を確認し、担当教員による個別での対応を密に行う。					
授業計画											
第1回	介護実習2の振り返りと必要書類の確認・作成										
第2回	介護実習2 報告会										
第3回	実習関係書類（日誌等）の見直し、各チューター個別指導										
第4回	介護実習3に向けて：メンバー発表、実習計画書、誓約書、実習施設の概要など記入										
第5回	各チューター個別指導と文献学習										
第6回	地域交流活動「概要：地域と関わることの重要性について」										
第7回	実習要綱・実習要領の確認、その他実習直前指導										
第8回	介護実習3の振り返りと必要書類の確認・作成										
第9回	介護実習3 報告会										
第10回	実習関係書類（日誌等）の見直し、各チューター個別指導										
第11回	介護実習4に向けて：メンバー発表、実習計画書、誓約書、実習施設の概要など記入										
第12回	要綱・要領の確認、施設実習におけるアセスメントへの取り組みに向けて（心得・留意事項等）										
第13回	事前訪問について（相談内容：実習の進め方・事例研究に関する確認等）、各チューター個別指導										
第14回	各チューター個別指導と文献学習、地域交流活動（本学で行う活動内容の検討・役割分担等決定）										
第15回	実習要綱・要領の確認、実習直前指導と文献学習										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
新・介護福祉士養成テキスト「介護総合演習・介護実習」中央法規出版						1年後期では、実習4までを実施します。介護過程の展開についても本格的に取り組む始めると同時に、地域交流活動についても準備を開始します。コースにおけるすべての学びが実習での実践に直結していることを意識し、各教科の学習に取り組んでください。					